

福岡県立大学 同窓会会報

第11号

福岡県田川市伊田4395
福岡県立大学内
福岡県立大学同窓会事務局
TEL(FAX)0947-42-2777
平成15年7月15日発行



飛躍の年 大学の発展を祈って

福岡県立大学同窓会会長 月脚 雅子

同窓会会員の皆様お元気でお過ごしでしょうか。各分野で精一杯ご活躍の事と思います。

県立大学は、今年度、大きく飛躍の年となりました。今までの社会学科、社会福祉学科、人間形成学科、大学院人間社会学研究科に加えて更に看護学科が開設されました。福岡県における総合的な福祉社会のスペシャリストを養成する大学になりました。私達同窓生も後に続く後輩達のためにも気を引き締めて行動し、視野を広く持ち誇りをもって若き後輩達と共に学びあい、社会に貢献出来るように努力しましょう。

看護学部の開設に伴いすばらしいキャンパスが出来上がりました。最新のハイテク機器を備えた立派な建物です。私達が学んだ頃とは天と地ほどの差があり羨望のまなざしで見えています。今年度は田川市の本校で同窓会総会を行います。新しくなった母校を見学方々お誘い合わせの上多くの方のご出席をお待ちしております。

今、世界中が不安の中にいます。北朝鮮問題、イラク戦争、その戦後処理等世界的な経済危機、天災飢餓や国内に於いては失業、リストラ、税金増、医療の個



人負担増、年金減と暗い話ばかりですが、それでも私達は生活していかなければなりません。どのように自分を守るか、地域社会を守るか、子供達を守るかが私達に課せられた現状です。人が人らしく生きられるように知恵を出し合っていく時期にきているのではないのでしょうか。

我が母校では「人間の調和と共生」を基本に学んではずです。自分自身にとっても、自分の廻りの人々にとっても生活しやすいように自分達の足元から変えていけたらと願っております。

会員の皆様、このきびしい時期を頑張って乗り越えていきましょう。

県立大学の看護学部設置に伴い、事務局が使用できる部屋も確保できる予定になっています。同窓会会員も現在4,470人、それに県立看護専門学校の閉校に伴い県立看護専門学校の同窓会も一緒にとの申し出があり、実現した場合は、県看同窓会員3,000人を含め、合計7,000余人規模の会員になる予定です。現在、事務局は週一日で仕事をしていますが、時代の変化や同窓会活動の役割に充分対応できるよう、事務局の充実を図らなければなりません。ホームページをつくるにしても経費がかかると思います。求人情報、就職情報、会員、大学の情報も発信できるように頑張って行きたいと思っています。その為には会員皆様方の年会費の納入をよろしくお願い致します。それでは総会でお会いするのを楽しみにしています。

平成15年度同窓会総会案

日時：平成15年8月17日（日）

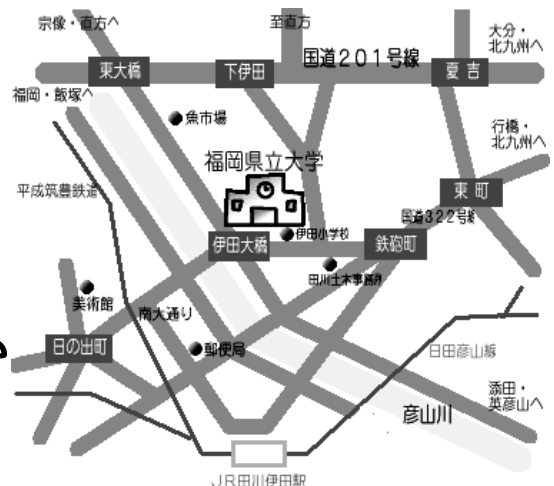
10:00～15:00

会場：福岡県立大学講堂
及び福利厚生棟

内容：総会 講演会
新キャンパス探歩
懇親会

会費：5,000円

県立大学の新しくなった
キャンパスをのぞいてみませんか



クマツヅラ科ヤナギハナガサ

学長 橋 口 捷 久

みずみずしい若葉の緑が生気を発散しています。五月晴れの晴天の中で、福岡県立大学創立十周年・看護学部開設記念行事が盛大に催されました。看護学部開設に伴って整備されたキャンパスには、櫻、桜、銀杏、楠、そして芝生と緑にあふれています。



植物の緑は私たちの気持ちを和らげてくれます。美しい花は目を楽しませてくれます。西新の住宅では、毎朝ベランダを観察するのが私の日課でした。観察は大げさで、ベランダの植物の成長や変化を見ることがです。毎日見ていると、ベランダの植物の1本1本の小さな変化が分かるようになります。球根の芽が出る前の土の盛り上がりや花芽のふくらみなどを発見すると、楽しくてわくわくします。

もっと楽しいことがあります。ベランダには、雀を筆頭に、四十雀や山雀、メジロ、大きいのは、ヒヨドリやカラスまで来ます。鳥は糞をするのであまり歓迎しません。特に土鳩はその上に巣作りまでします。招かれざる客です。しかし、鳥は糞の中や羽に植物の種をつけて運んでくれます。時々、見慣れない双

葉を発見します。何だろう！私はその双葉を宝物のように大切に育てます。ちょうど、サン・テクジュペリの「星の王子さま」がバオバブの木に毎日水をやっただけのように可愛がります。

そうこうしているうちに、立派に成長して花が咲きます。大抵の場合、途中で名前が分かるのですが、まったくはじめて出会う野草もあります。名前を調べる楽しみがあります。知識を総動員して、自分が知っている草花の特徴と一々照合し、何に似ているかで、何科の植物か見当を付けます。例えば、花や茎の形がナデシコに似ているとか、ノコギリソウに似てるとかで、植物図鑑の索引を引き探します。そのようにして西新のベランダで発見した野草が、熊葛(クマツヅラ)科の柳花笠(ヤナギハナガサ)という名前の帰化植物でした。直径5mmほどの薄紫色の小さな花を茎の先端にたくさん付ける草丈80cm程度の目立たない野草です。その後福岡県立大学の周囲の路傍や、筑後の北野町の中央公民館の裏庭でも見つけました。

2000年7月、私は家内を伴ってストックホルムでの国際心理学会議に出席していました。市内を散歩しているとき、中央広場のロータリーで偶然柳花笠を発見しました。西新のベランダや、田川に咲いていた柳花笠がストックホルムにも咲いていたのです。福岡とストックホルムがすごく近く感じられ嬉しくなりました。

変動する大学環境と福岡県立大学

人間社会学部教授 平野 泰朗

福岡県立大学は、近年、大きく変わりつつあります。まず、2003年度から看護学部が開設され、二学部体制になりました。さらに、近いうちには、国立大学のすぐ後に独立行政法人になろうとしています。これは、大学をさらに大きく変えることになるでしょう。その意味を同窓会と大学との関係という視点から考えてみます。

独立行政法人の特徴の1つに、意思決定の迅速化があります。これは、今までの評議会・教授会の合議に代わって、学長・役員会が決定権をもつことにより、実現されます。なぜ、意思決定を迅速にする必要があるのでしょうか。それは、これから激しくなる大学間競争において、各大学の特色を出す改革をより早く実行させるためです。競争による大学の淘汰は、早く進むものと予想されます。のんびりと改革を進めていると、どの大学も自らの特徴をだせないまま

淘汰され、あるいは生き残っていきます。生き残った大学は、それからゆっくりと大学改革をすればいいのではないか、と思われるかもしれないが、それでは、国際的水準にますます遅れてしまいます。

これからは、例えば、研究に重点を置き、先端技術の開発等に結びつく成果を次々と出す大学や、教育に重点を置き優れた人材を社会に送り出す大学など、それぞれに特色をもつことが、社会的に見て望ましいわけです。

では、福岡県立大学は、どういった特色を出せばいいのでしょうか。おそらく答えは、地域貢献と教育にあるでしょう。

もちろん、看護系や福祉系では、特許に結びつくような社会的効果の分かりやすい研究もなされるでしょうし、それ以外に地道な研究もなされるでしょう。しかし、それはあくまでも個人としての研究者によるものであり、大学としての重点的課題は、地域貢献と人材養成＝教育にあると思われます。

教育を充実させるということは、授業の改善を行うことのほか、学生の自主的学習に対する支援や学習・進路等に対する個別指導をきめ細かくすることも必要となるでしょう。

そして、学生を社会に送り出すときの就職支援も、大学に求められます。この就職支援は、3年生後半か

ら4年生にかけての就職活動の時期のみ行われるわけではありません。仕事に就くとはどういうことか、働く現場では何が求められるかということ、できるだけ早く学生に聞かせ、自分の働くイメージを具体的に描けるようにすることも含まれます。こうした場面で、大学は、現場の声の提供者として同窓会に大きく頼っていくことになるでしょう。同時に、具体的な就職情報の提供をも、同窓会にお願いすることになるでしょう。とくに看護は、これまで全く伝統のない領域であるだけに、今までの同窓会だけでな

く、県立看護専門学校の同窓会にも依存せざるをえないでしょう。両同窓会ができるだけ早く統合ないし協力をしてくださることを大学の一人としては、希望します。

福岡県立大学が、地域貢献と広い意味での福祉系人材の養成を特色とする限り、同窓会とのより緊密な連携が必要になっていきます。大学としては、その辺りの事情を同窓会にご理解いただき、ご協力をお願いできればありがたいと思っています。

看護学部設置に伴う同窓会の取り組み

1,看護学部棟完成を記念し、同窓会より寄贈

平成15年4月県立大学に看護学部が設置され、看護学部看護学科生81名が入学しました。入学式に先駆け、講堂を含む管理棟、福利厚生棟、看護学部棟等の新キャンパスが2月に完成、同窓会より寄贈を行いました。寄贈については、平成13年度同窓会総会に於いて承認され、具体的な寄贈の品物の選定は、三役に一任、寄贈品にかかる費用は、特別会計より300万を捻出することとなっていました。なお金額につきましては、社会保育短期大学同窓会が、県立大学同窓会として一本化され、平成14年度末までの特別会計への繰入金金が300万円であることを根拠としました。

寄贈品の選定には、三役学長懇談会を開催し、大学側からの要望を聞き、業者からの説明を受けるなどし、十分に吟味した上で、平成15年2月の幹事会にて幹事の方々への説明を行い、講堂への難聴者磁気誘導システムの設置を決定いたしました。

難聴者磁気誘導システムとは、難聴者の方が補聴器(自分愛用のもの)または、専用の受信器(補聴器を持っていない人用に会場で準備するもの)を使用しながら、講演会会場などでマイクから出てくる音を聞きやすくするものです。紙をめくる音や咳払いなどの雑音を避け、講演者、司会者等のマイクからの声を鮮明に受信できるシステムです。

今年の同窓会総会では磁気誘導システムの体験時間も設けたいと思います。是非、総会に参加いただき、体感して下さい。

なお、今回の寄贈に対し、平成15年5月9日県立大学創立十周年・看護学部開設記念式典に於いて、学長より同窓会に感謝状をいただいております。



2,福岡県立大学十周年記念事業参加呼びかけ

平成15年5月9日・10日に福岡県立大学創立十周年・看護学部開設記念事業が行われました。同窓会会員全てに呼びかけることはできませんでしたが、同

窓会幹事並びに福岡県内在住の県立大学卒業生に対して、案内状とチラシを送付し、参加を呼びかけました。また、県立大学十周年を記念し、「福岡県立大学10年誌」を大学が発行することとなり、同窓会から県立大学卒業生に原稿依頼をしました。また県立大学同窓会の歩みと活動について掲載しました。

3,県立看護専門学校同窓会の加入について

平成13年夏、福岡県立看護専門学校同窓会総会で、福岡県立大学同窓会との交流を願い、一緒に活動していきたいとの意向が決議され、本同窓会に申し出がありました。

本同窓会では、その意向を受け、県立看護専門学校の県立大学同窓会への参加を検討していくことを総会で決議いたしました。

平成13年秋には、県立看護専門学校同窓会役員並びに同窓会あり方委員会と本同窓会三役並びに事務局が集まり情報交換を行いました。

平成15年1月、県立看護専門学校同窓会より、「福岡県立看護専門学校同窓会を福岡県立大学同窓会に移行することについて」の趣意書が提出され、本同窓会では三役でこれについての回答書を作成致しました。

回答書では「県立大学同窓会は既存の同窓会であり、県立看護専門学校同窓会が移行を計るには、県立看護専門学校同窓会員の県立大学同窓会への加入という形での統合になる」ことを明記し、現在の県立看護専門学校同窓会と県立大学同窓会の会則の相違点や活動の相違点について県立看護専門学校に検討頂きたい旨を文書で送付いたしました。

平成15年5月には県立看護専門学校同窓会より、この回答書への回答という形で文書がきております。現在、県立看護専門学校同窓会会員の県立大学同窓会への加入の具体的な話し合いに入っていく段階にきております。

県立看護専門学校同窓会会員の加入には会則の改正その他検討していく事項もありますが、まずは、同窓会会員の皆様のご理解を得て、県立看護専門学校同窓会会員を受け入れ、会員相互の協力、親和関係を築くことが必要となります。出身校の違う卒業生が

集い一つの同窓会を構成していくこととなります。

私たちの出身校は、保育者養成校として出発し、先輩方の短大昇格運動を経て、社会福祉科と保育科をもつ短大そして、心理学や社会学を含んだ人間社会学部の大学へと発展してきました。その大学が、看護学部の設置により、大きく飛躍しようとしています。

この看護学部の前身となります県立看護専門学校卒業生の県立大学看護学部設置を喜ぶ気持ちと出身

校が閉校になる寂しさは、養成所、社保短出身の会員の方々には充分ご理解頂けることでしょう。

県立大学同窓会は大学変革に対応して、変革、拡充、強化を迫られています。県立看護専門学校同窓会会員を県立大学同窓会会員として迎え入れ、同窓会活動の強化を図る為に、会員の皆様のますますのご支援、ご協力をお願いいたします。

会報アンケート結果

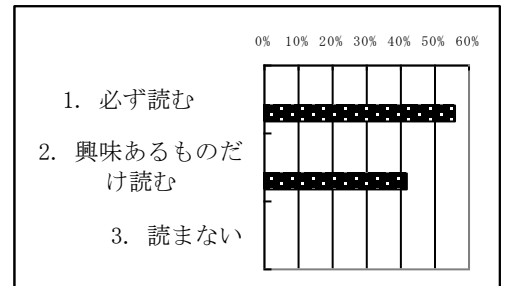
昨年会報10号発送の折りに、会報についてのアンケートを同封いたしました。3,655名の会報発送者のうち、255名の方より回答をお寄せ頂きました。ご協力に感謝し、ここにアンケート結果を報告します。

I. 会報発行期間はどのくらいが良いとお考えですか		
	人数	比率
1. 毎年1回	169	66.3%
2. 2年に1回	54	21.2%
3. 3年～5年に1回	27	10.6%
4. 無回答	5	2.0%
合計	255	100.0%

II. 送付された会報に目を通しますか?		
	人数	比率
1. 必ず読む	143	56.1%
2. 興味あるものだけ読む	107	42.0%
3. 読まない	0	0.0%
4. 無回答	5	2.0%
合計	255	100.0%

III. 過去の会報で役に立った記事、印象に残った記事はありますか		
	比率	人数
1. ある	42.7%	109
2. ない	36.9%	94
3. 無回答	20.4%	52
合計	100.0%	255

IV. 会報の記事の量について		
	人数	比率
1. 多い	26	10.2%
2. ちょうどよい	215	84.3%
3. 少ない	5	2.0%
4. 無回答	9	3.5%
合計	255	100.0%



V. 10号で読んでおもしろかった又は役に立った記事を選んでください (複数回答可)

	人数	比率
会長挨拶	27	10.6%
学長挨拶	42	16.5%
総会報告	27	10.6%
名簿アンケート結果	41	16.1%
追悼コーナー	84	32.9%
同窓会ジョブネットワーク	38	14.9%
県大の今	137	53.7%
教員動向	46	18.0%
県大生就職状況	55	21.6%
サークル紹介	26	10.2%
お仕事Q&A	41	16.1%
あれこれトピック	32	12.5%
同窓生の声	156	61.2%
その他	7	2.7%

アンケート自由記述

○ 同窓生の声で同期生の分が無いので、なるべく小行でもいいので、たくさんの方の期生をのせれるようにしたい。知らない人の分を読むより友達の声を知りたい人が多いのではと思う。

○ 卒業生の実践現場での近況報告(福祉職、保育職、心理職など)

卒業生のネットワークで仕事の求人コーナー(フルタイム、パートタイムともに)、おすすめの書籍「紹介コーナー」(先生方よりの)、図書館の新刊書情報

○ 早くホームページが開設されて、そこで卒業生同志のコミュニケーションがとれればと思います。これからもよろしくお願いします。

○ 事務局からの郵便物をいただくたびに社保短の事を思い出します。ありがとうございます。卒業後、一度も(社保短)県大に行く事はありませんが、同窓会事務局のおかげで、大学とつながっている事が実感できてうれしく思います。

○ 会報は年会費を何年も納めてない人には送らなくてもいいのでは? また納めている人も希望者だけに

送ればいいのか? 読んでない人もかなりいると思います。資源の無駄ではないですか?

○ 養成所、短大、県大の同窓会を一体と考えてくれている企画にとっても感謝している。なぜならば青春時代一生懸命がんばり、そう願ったから。

○ アンケートの結果が来年掲載されるのですね。回答者の背景が出ると面白かったのと思います。①年代②居住地③現役かOBか

○ 悩みを打ち明けて語れるコーナー等もあれば、複雑化した現代事情の中でお互い知恵を出し合いヒントを見つける手がかりが見つかると思います。

○ 在学中お世話になった田川市社協、湯山荘、手話サークルの方々等と地域の現在の状況をレポートしてほしいです。また神幸祭、銀天街、駅前などの懐かしさにふれてみたいと思います。

○ 写真付きの同窓生の声、とても楽しく拝見いたしました。懐かしさでいっぱいです。

○ 県大の方から就職先等の紹介などの要望があれば、情報をよせてほしいなど載せたらどうでしょうか? 研修会、催し物など載せてくださると助かります。

- 資格取得についての情報があるといいなと思いました。
- これからも公開講座の情報があったら載せてください。
- 会報を定期的に出すことは容易でないと思いますが、同窓会の組織強化充実に欠かせない事業内容ですから、ぜひ努めてください。母校の発展にとって、同窓生の社会における活躍は大きな力であり希望です。連帯の輪をしっかりとつakってよい同窓会活動を行ってください。(旧教員：松永 俊文)
- 学校が大きくなるのに驚いています。何れ短大設立初期のことを投稿しようかと思っています。(旧教員 内海 洋一)

<アンケート集計を終えて>

アンケートご協力ありがとうございました。全の方のご意見を掲載したく思いましたが、紙面の都合上代表的な意見を掲載させていただくことにしました。会報アンケートの結果を今後の会報編集に生かし、

会員の方に有意義な情報、インタラクティブな送受信を目指し、会報の編集に取り組んでいきます。今後もご意見・ご感想をお寄せくださいますようお願いいたします。

なお今回編集で改善した点は

- ① 従来のスタイルで、好評なものは継続する。
- ② 同窓生の声の他に短い近況報告を掲載する。
名簿発行作業等で、印刷の残りがあった返信葉書を利用して、約900名の方に近況報告原稿を依頼しました。反響は大きく、紙面に掲載できないのではと思われるほどの返信がありました。また、来年度の会報12号編集に向けて、本号送付時に近況報告返信葉書を同封させていただくことにしました。(今回同封のものを送信いただきますと来年の会報掲載となります)
- ③ 読みやすい紙面になるようデザイン、編集を工夫する。(これはこれからの大きな課題です)

教職員追悼

<武内先生を偲んで>

社保短9期 加藤雅子

私と武内先生の出会いは、短大の2年の春でした。ウェーブのかかった長めの髪にたばこの香り。第1印象はやっぱり芸術家!大人の男の人!という印象でした。その頃保育科55名は7人の先生方とホームという名前で、1ホーム7、8人のグループで分かれていました。私は武内ホームでした。学生寮に入っていた私は寮生らと一緒にピアノの練習もそこそこによくホームに集まっていました。記憶力のない私にとって、そこで先生と何を話したのか、一片のことばすら思い出せないのですが、何だかいつもあったかくて優しい先生のそばにただで和んでいたように思います。先生は時々香りの良いコーヒーを入れてくださいました。(今だから、明かす事実(?))木造校舎の一つの部屋で先生のおだやかな笑顔にみんなの笑い声。時々意味不明なことを言って自分で受け、大笑いする先生をみておかしくなったりしたこともありましたが、みんな先生のことが大好きでした。美術の先生であり、偉大な先生ではありますが、私にとっては、ホームの先生、心のホームの先生だったなと思います。画家武内勝彦ではなく、先生と生徒としてめぐり会えたことに感謝したいです。先生ありがとうございました。ゆっくり休んで下さい。

<あの日の笑顔>

社保短20期 森本 美津子

学生生活の中で、いちばん楽しかった短大時代。同じ目的に向かって一緒に勉強した仲間たち。その中で、私は武内先生と出会いました。まるで、映画に出てくる「チャップリン」のような先生。それが第一印象でした。武内先生の部屋に入ると、朝からコーヒーのいい香りがしていて、いつも何人かの学生がソファに座り、先生とおしゃべりをしていましたね。将来のこと、恋愛のこと、おしゃべりのこと……若くて多感な私達は、何度夜明けまで先生といっしょに語り合ったことでしょうか。淡いパステルカラーの武内先生の絵は、そんな先生の人柄をあらわしているかのようです。もう少し、長生きしてほしいです。先生。今度の同窓会に先生の顔が見れないのはとてもさびしいです。今でも、学生達の中に座って、ニコニコと黙って話を聞いている先生の顔が頭に浮かびます。

同窓会ジョブネットワーク

今回、同窓会への求人・求職情報はありませんでした。昨年求職に掲載された情報について同窓会事務局に問い合わせがあり、筑豊地区事務職を希望なさった方は、現在筑豊地区で勤務中です。会員の皆さんの情報をお持ちしています。

福岡県立大学10年誌

「福岡県立大学10年誌」購入希望の方は、同封の振り込み用紙(年会費振り込みと共通)に「10年誌希望」と記入の上、1,200円を郵便局にてお振り込み下さい。同窓会より発送いたします。

同窓会総会でこのことについて審議いたします。

平成13・14年度同窓会事業報告

- 1 会報の発行
第9号(2001年)・第10号(2002年)を定期発行。
卒業・入学時に臨時号を発行。
- 2 会員名簿作成・発行
会員の住所・氏名を調査し、名簿整理を実施する。
住所不明者のリストを作成、会報発送時に同封し、会員の住所判明に努力する。
卒業生については、新住所報告を依頼し、通知により名簿を作成する。
- 3 同窓会総会の開催(北九州地域)
- 4 大学の発展に関する協力
大学主催の事業等に協力する。
- 5 学生の就職活動への援助
卒業生へ就職情報提供を呼びかける。
- 6 同窓会運営の充実
 - ①運営に関する諸規程の整備
常任幹事会にて、諸規程の審議・整備を行う。
 - ②会費納入の要請・徴収
会報発送の際、年会費の振込用紙を同封するとともに、会費納入の要請をする。
- 7 同窓会活動の調査・研究

	養成所	短大	県大	大学院	全体
納入率	44%	21%	10%	38%	23%

平成15年3月末日

<活動状況>

2001年

- 4/7 大学入学式入学生に祝電・花スタンド贈る
入学生に向けて同窓会会報臨時号発行
入学式にて同窓会入会金徴収
- 4/17 第3回名簿調査カード送付
- 5/8 嵯峨山先生遺作展に花スタンド贈呈
- 6/17 三役会・幹事会開催 同窓会会報9号発行承認

- 7/1 会報第9号発行(同窓会総会案内・会費納入願い・各期連絡文書を同封)
平成13・14年度会費徴収開始
- 8/19 同窓会総会・懇親会
(北九州市：八幡ロイヤルホテル)
平成11・12年度事業報告・決算報告・監査報告
平成13・14年度事業計画案・予算案審議
- 10/13 福岡県立看護専門学校同窓会三役との懇談会
- 11/6 学長・三役懇談会開催

2002年

- 2/4 保田井学長退官記念講義を会長他会員聴衆花束並びに記念品の贈呈
- 2/18 第3回名簿作成委員会開催
- 2/18 同窓会名簿発送
名簿購入者に対してアンケート実施
- 3/18 大学卒業証書・学位授与式に祝電・花スタンドを贈る
卒業生へ向けて同窓会会報発行
保田井前学長告別式に弔電送信・献花を行う。
- 4/7 大学入学式入学生に祝電・花スタンド贈る
入学生に向けて同窓会会報発行
入学式にて同窓会入会金徴収
- 6/23 同窓会三役会・幹事会開催
同窓会会報10号発行承認
- 8/1 同窓会会報第10号発行
会費未納者へ向けて会費納入願い送付
名簿アンケートの集計結果掲載
- 10/28 武内勝彦元県大教授告別式に際し弔電送信

2003年

- 1/21 三役会開催
学長・三役懇談会開催
- 2/16 三役会・幹事会開催
- 3/14 県立大学看護学部棟落成式に三役出席
記念式典演奏費拠出
看護学部設置に伴う寄付贈与
(大講堂に難聴者支援システム設置)
- 3/18 大学卒業証書・学位授与式に祝電・花スタンドを贈る
卒業生へ向けて同窓会会報発行

平成15・16年度同窓会事業計画

- 1 会報の発行
第11号(2003年)・第12号(2004年)を定期発行。
卒業・入学時に臨時号を発行。
- 2 会員名簿の整理
会員の連絡先・氏名等変更の際、随時会員の通知により名簿整理を実施する。
- 3 同窓会総会の開催(田川：県立大学)
- 4 大学の発展に関する協力
看護学部設置に伴う寄附
大学主催の事業等に協力する。
- 5 学生の就職活動への援助
卒業生へ就職情報提供を呼びかける。
- 6 同窓会運営の充実
 - ①運営に関する諸規程の整備
常任幹事会にて、諸規程の審議・整備を行う。
 - ②会費納入の要請・徴収
会報発送の際、年会費の振込用紙を同封するとともに、会費納入の要請をする。
- 7 同窓会活動の調査・研究
他大学同窓会アンケート集計・分析

<活動予定>

2003年

- 4/8 大学入学式入学生に祝電・花スタンド贈呈
入学生に向けて同窓会会報臨時号発行
入学式にて同窓会入会金徴収
- 5/9・10 県立大学十周年・看護学部開設記念事業参加
- 6/15 三役会議開催・幹事会開催
会報11号発行承認

- 7/上旬 会報編集委員会開催
同窓会会報第11号発行・郵送
- 7/上旬 平成15・16年度会費徴収開始
- 7/中旬 他大学アンケート集計
- 8/17 同窓会総会・懇親会開催
(田川市：福岡県立大学)
H13・14年度事業報告・決算報告・監査報告
H15・16年度事業計画案・予算案審議
- 10/下旬 常任幹事会開催
- 11/下旬 会報編集委員会開催

2004年

- 2/中旬 常任幹事会開催
- 3/中旬 福岡県立大学卒業式に際し、祝電・花スタンド贈呈
卒業生に向けて同窓会会報臨時号発行
- 4/上旬 福岡県立大学入学式に際し、祝電・花スタンド贈呈
入学生に向けて同窓会会報臨時号発行
入学式にて同窓会入会金徴収
- 5/中旬 会報編集委員会開催
- 6/中旬 三役会議開催・幹事会開催
会報第12号発行承認
- 6/下旬 同窓会会報第12号発行・郵送
- 7/上旬 平成16年度会費徴収開始
- 11/下旬 会報編集委員会開催

2005年

- 2/中旬 三役会議開催・常任幹事会開催
- 3/中旬 福岡県立大学卒業証書・学位記授与式
祝電送信・花スタンド贈呈
卒業生に向けて同窓会会報臨時号発行

平成13・14年度決算報告

〇一般会計



平成13年度決算					平成14年度決算					
大項目	中項目	予算額	決算額	増減	内訳	予算額	決算額	増減	内訳	
収入	1 繰越金	(1)繰越金	3,823,773	3,823,773	0	2000年度繰越金	3,864,173	3,846,849	△ 17,324	2001年度繰越金
	2 経常収入	(1)入会金収入	1,620,000	1,830,000	210,000	入会金 (183名)	1,620,000	1,740,000	120,000	入会金
		(2)年会費収入	2,100,000	1,428,000	△ 672,000	年会費 (476名)	300,000	601,500	297,000	年会費
	3 臨時収入	(1)売上金収入	0	487,500	487,500	名簿売上金 (193部)	0	32,500	30,000	名簿売上金
		(2)寄付金収入	50,000	7,000	△ 43,000		50,000	340	△ 49,660	
		(3)諸収入	500,000	360,000	△ 140,000	総会参加費 (72名)	0	0	0	
		(4)雑収入	0	149,698	149,698	特別会計より (6,720)	0	28,274	28,274	口座解約 (26,000)
	収入合計		8,093,773	8,085,971	△ 7,802		5,834,173	6,249,463	408,290	
	支出	1 事務局費	1,623,730	1,578,964	44,766		1,179,610	1,235,405	△ 55,795	
		(1)会議費	90,000	70,648	19,352	三役会・幹事会	40,000	42,148	△ 2,148	三役会・幹事会
(2)旅費		144,000	110,480	33,520	三役会・幹事会	64,000	95,600	△ 31,600	三役会・幹事会	
(3)印刷消耗費		80,340	28,042	52,298	インク・用紙・文具	80,340	30,578	49,762	インク・用紙・文具	
(4)備品費		250,000	0	250,000	ノートパソコン	30,000	203,700	△ 173,700	ノートパソコン	
(5)人件費		892,320	1,199,290	△ 306,970	賃金	811,200	738,990	72,210	賃金	
(6)通信費		83,070	74,451	8,619	郵便代・電話代	70,070	69,792	278	郵便代・電話代	
(7)渉外費		74,000	87,128	△ 13,128	花代・祝電	74,000	42,627	31,373	花代・祝電	
(8)雑費		10,000	8,925	1,075	貸金庫使用料	10,000	11,970	△ 1,970	貸金庫	
2 事業費		1,985,870	2,090,158	△ 104,288		972,630	837,163	135,467		
(1)会議費		737,000	573,100	163,900	総会打合せ・同窓会総会	7,000	0	7,000	編集委員会	
(2)旅費		39,000	50,198	△ 11,198	総会打合せ	9,000	0	9,000	編集委員会	
(3)印刷消耗費		287,250	459,779	△ 172,529	会報印刷	158,750	347,808	△ 189,058	会報印刷	
(4)通信費		407,000	469,400	△ 62,400	会報送付	360,000	378,370	△ 18,370	会報送付	
(5)人件費		165,620	390,856	△ 225,236	会報送付・総会	87,880	89,985	△ 2,105	会報送付作業	
(6)寄付金		300,000	100,000	200,000	大学への協力	300,000	20,000	280,000	大学への協力金	
(7)謝金		50,000	46,825	3,175	講演会講師謝金	50,000	1,000	49,000		
3 予備費		620,000	570,000	50,000		620,000	502,500	117,500		
(1)特別会計繰出		500,000	500,000	0		500,000	500,000	0		
(2)予備費		120,000	70,000	50,000		120,000	2,500	117,500		
4 繰越金		(1)繰越金	3,864,173	3,846,849	17,324		3,061,933	3,674,395	△ 605,462	
支出合計		8,093,773	8,085,971	7,802		5,834,173	6,249,463	△ 408,290		

〇特別会計

項目	予算額	決算額	増減	内訳
収入				
繰越金	19,634,936	19,634,936	0	
利息	60,000	9,076	△ 50,924	
繰入金	1,000,000	1,000,000	0	一般会計より
合計	20,694,936	20,644,012	△ 50,924	
支出				
繰出金	60,000	9,076	50,924	利息分を一般会計へ
繰越金	20,634,936	20,634,936	0	
合計	20,694,936	20,644,012	50,924	

会計帳簿及び関係書類監査の結果、上記の通り相違ありません。

平成15年7月1日

会計監査 水ノ江 久子  石本 光輝 

名簿作成決算報告

項目	予算	決算	増減	内訳
収入				
名簿売上金	2,500,000	1,337,500	1,162,500	354冊 (H12)193冊 (H13)
広告料	15,200	85,000	△ 69,800	
同窓会事業費から支出		799,680	△ 799,680	
収入合計	2,515,200	2,222,180	293,020	
支出				
会議費	21,000	20,500	△ 500	
旅費	30,000	20,460	△ 9,540	
印刷消耗費	239,500	233,638	△ 5,862	
名簿印刷費	614,400	788,235	173,835	800部印刷
通信費	1,340,000	843,115	△ 496,885	
人件費	270,300	245,871	△ 24,429	
予備費		70,000	70,000	二重払い返却27名
残金同窓会へ繰り出し		361	361	
支出合計	2,515,200	2,222,180	△ 293,020	

平成15・16年度予算(案)

〇一般会計

平成15年度予算					平成16年度予算				
大項目	中項目	予算額	平成13年度予算額	内訳	予算額	平成14年度予算額	内訳		
収入	1 繰越金	(1)繰越金	3,674,395	3,823,773	繰越金	4,218,125	3,864,173	前年度繰越金	
	2 経常収入	(1)入会金収入	2,420,000	1,620,000	入学者*¥10,000	2,420,000	1,620,000	入学者*¥10,000	
		(2)年会費収入	2,100,000	2,100,000	会員数*納入率*¥3,000	450,000	300,000	会員数*年会費納入率*¥1,500	
	3 臨時収入	(1)売上金収入	80,000	0	冊子販売単価*売上个数	0	0		
		(2)寄付金収入	50,000	50,000		50,000	50,000		
		(3)諸収入	500,000	500,000	総会参加費¥5,000*参加人数	0	0		
		(4)雑収入	0	0		0	0		
	収入合計		8,224,395	8,093,773		7,138,125	5,834,173		
	支出	1 事務局費	1,550,500	1,623,730		1,523,340	1,179,610		
		(1)会議費	75,900	90,000	三役会 幹事会	76,800	40,000	三役会 常任幹事会 幹事会	
(2)旅費		139,750	144,000	三役会 常任幹事会 幹事会	142,000	64,000	三役会 常任幹事会 幹事会		
(3)印刷消耗費		46,070	80,340	インク 文具	42,410	80,340	インク 文具		
(4)備品費		120,000	250,000		120,000	30,000			
(5)人件費		1,007,240	892,320	賃金 (事務日数*日額)	980,200	811,200	賃金 (事務日数*¥6,760)		
(6)通信費		76,380	83,070	郵便代 電話代	76,770	70,070	郵便代 電話代		
(7)渉外費		73,500	74,000	卒業・入学式花代・祝電	73,500	74,000	卒業・入学式花代・祝電		
(8)雑費		11,660	10,000	貸金庫使用料	11,660	10,000	貸金庫使用料		
2 事業費		2,505,770	1,985,870		1,490,280	972,630			
(1)会議費		720,000	737,000	総会打合せ 同窓会総会	5,000	7,000	編集委員会		
(2)旅費		37,500	39,000	編集委員会、総会打合せ	7,500	9,000	編集委員会		
(3)印刷消耗費		571,470	287,250	印刷代	431,580	158,750	印刷代		
(4)通信費		638,800	407,000	会報送付、返信郵便代	588,200	360,000	会報送付、返信郵便代		
(5)人件費		138,000	165,620	会報送付作業、総会7人*1	108,000	87,880	会報送付作業7人*1		
(6)寄付金		300,000	300,000	大学への協力	300,000	300,000	大学への協力金		
(7)謝金		100,000	50,000	総会講演会講師謝金他	50,000	50,000	謝金		
3 予備費		550,000	620,000		550,000	620,000			
(1)特別会計繰入金		500,000	500,000		500,000	500,000			
(2)予備費		50,000	120,000		50,000	120,000			
4 繰越金		(1)繰越金	4,218,125	3,864,173		3,574,505	3,061,933		
支出合計		8,224,395	8,093,773		7,138,125	5,834,173			

〇特別会計

項目	予算額	内訳
収入		
繰越金	20,634,936	
利息	6,000	3000*2
繰入金	1,000,000	一般会計 (500,000*2)
合計	21,640,936	
支出		
繰出金	6,000	利息分を一般会計へ
特別事業費	3,000,000	看護学部開設に伴う寄付
繰越金	18,634,936	
合計	21,640,936	

公開講座情報

福岡県立大学では、広く地域に開かれた大学として、地域住民の生涯学習に資することを目的に、「生涯学習」、「地域振興」等をテーマの中心に据え、種々の公開講座を企画、実施しています。

日時：平成15年10月11日(土)～年11月15日(土)

毎週土曜 14:00～16:00

内容：「健康づくり、からだづくり」

場所：福岡県立大学

※申し込みお問い合わせは 県立大学教務課まで

在学生・卒業生への求人情報提供につきましては、同窓会活動として取り組んでいます。職場や関係機関での求人情報がありましたら、県大学生課まで、是非ご連絡下さい。

TEL 0947-42-2118

(福岡県立大学 学生課)

県大生の就職状況（平成14年度卒業生）

平成14年度の本学卒業生の就職状況は、4月14日現在で右記一覧のとおりです。卒業生157名中、就職希望者は115名。就職決定者は99名で、就職決定率は86%となっています。前年度は社会学科86%、社会福祉学科88%、人間形成学科78%でした。最近は進路未定者やフリーターも多く、早期段階における就職意識の確立が必要と思われます。就職状況は、依然として厳しい状況で、企業は言うに及ばず、社会福祉職場にもその波が押し寄せているようです。

	就職希望者	民間企業	病院	社会福祉施設	公務員	合計	就職率(%)	大学院進学	専門学校等	その他
社会学科(50)	35	24	1	1	1	27	77	0	3	12
社会福祉学科(54)	48	2	9	28	3	42	88	1	0	5
人間形成学科(53)	32	11	1	11	7	30	94	6	6	4
計(157)	115	37	11	40	11	99	86	7	9	21

看護学部新任教員紹介

【実務看護学】

森山 信男 教授
小木曾 映子 助教授
有泉 高史 助教授
河田 みどり 講師
飛驒 浩一 助手

【基礎看護学】

中野 榮子 教授
永嶋 由理子 助教授
和泉 成子 助教授
高橋 清美 助手
加藤 法子 助手
佐藤 友美 助手

【家族・在宅看護学】

松原 まなみ 教授
小路 ますみ 助教授
瀧野 由夏 講師
大倉 美鶴 助手

【精神看護学】

Adlr Collins JE-KAN
講師

【成人看護学】

大見 由紀子 助手
芥川 清香 助手
手島 聖子 助手

【老年看護学】

上村 美智留 助教授
福田 珠恵 助手

【女性看護学】

古田 祐子 助教授
鳥越 郁代 助教授
浅野 美智留 講師
石村 美由紀 助手

【小児看護学】

松尾 ひとみ 助教授
飯島 喜子 講師
原 知子 助手
大森 有紀子 助手

【地域看護学】

松浦 賢長 教授
石井 敦子 助手
森山 浩司 助手
伊藤 真由 助手
樋口 善之 助手

【臨床機能看護学】

安酸 史子 教授
村島 さい子 教授
森 礼子 助教授
中津川 順子 助教授
四戸 智昭 講師
山本 武志 講師
中野 実代子 助手

人間社会学部教員動向

<退職・転学された先生>

かつこ内は在職期間

亀谷 秀樹 教授
(H4.4.1～H15.3.31)

興津 真理子
(H12.4.1～H15.3.31)

<新しく着任された先生>

かつこ内は着任日

麦島 剛 講師(H15.4.1)

本多 潤子 助手(H15.6.1)

昭和51年4月1日から平成10年3月31日まで社会保育短期大学並びに福岡県立大学で教授を務められました武内勝彦先生が平成14年10月28日死去されました。ご冥福をお祈りいたします。(追悼文4頁掲載)

サークル等紹介

○ NPO福祉用具ネット

社会福祉学科4年生 高橋 聡明

福岡県立大学生涯福祉センター内には、NPO福祉用具ネットが設立されています。

NPO福祉用具ネットは、地域の福祉に寄与する事業を行っています。私は、このNPOにボランティアとして参加しており、学生ボランティア仲間12名と一緒に方城町のバリアフリー調査、福祉用具の活用及び住環境の整備に関するセミナーなどの活動に参加してきました。大学のカリキュラムには、こうした地域での活動の場という

ものがないため、実際を知らず理論だけが先行し、不安定になりがちなところを、理論と実際とを結びつける機会をNPOによって持つことができ、良いバランスが取れています。私自身、大学は、社会に出て行くための準備段階だと考えています。その準備段階で、NPOにボランティアとして参加し、あらゆる活動を行い、地域、また様々な社会人と触れ合うことのあるということとは



先生方からのメッセージ

〈お世話になりました!〉

前人間社会学部教授 亀谷秀樹

この3月に福岡県立大学を退職し、埼玉工業大学に転職いたしました。思えば、県立大学には10年間お世話になったこととなります。県立大学の教職員の皆様、在學生、卒業生の皆様、そして里子として學生達に貰われていったネズミの諸君、本当にお世話になりました。誠にありがとうございました。

私は、県立大赴任以前、国内外の研究所で研究生活を送っていたので、大学で教えるのは、県立大が初めての体験でした。そんなわけで、新しく講義ノートを作成したり、新しい実験室でのネズミの手術やデータ分析など、いろいろと苦労もしましたが、今ではみ

なセピア色の楽しい思い出です。埼玉で教育・研究を順調に立ち上げることができたのも、こうした県立大の経験のお陰と感謝しております。

看護学部との2学部制になり、新たな飛躍を迎えようとしている県立大学の明るい未来をお祈りしております。

こちらにお越しの折は、是非お立ち寄り下さい。



SCD 友の会（患者会設立の報告）

県立大6期 平畑ふみ

私は在学中から脊髄小脳変性症（以下、SCDという）と付き合ってきました。SCDは、厚生労働省が指定している特定疾患（難病）の1つです。この病気は現在治療法もなく、身体的な障害をとめない、進行性のために将来に対する不安がつきまといまいます。同じSCDの患者さんがどこにいるかもわからず、だれにも相談できず不安が強くなり、うつ状態になる方もいます。

そこで、SCDの患者同士が交流できる場がほしいとの思いから、今年4月に患者会「福岡県SCD友の会」

を設立しました。活動内容は、当面筑豊地区（田川年2回・飯塚年2回、直方年2回、日曜日に設定）で交流会等を催し、県内の患者会員に対して会報を年4回発行します。

患者・家族だけでなく、活動を手伝ってくれるボランティアも探しています。

関心のある方は、ぜひ連絡をして下さい。お待ちしております。

福岡県SCD友の会事務局

〒820-0081 嘉穂郡穂波町枝国527-8 平畑方

FAX 0948-28-6408

fumi.hirahata@h2.dion.ne.jp

同窓生の声

〈遠きあの頃、四十数年〉

保母養成4期 平間 多喜子

希望に胸を膨らませ少々不安もあり、福祉の道へ第一歩を入れたのは遠い四十数年前のことだった。

福祉の勉強はもちろんの事、ピアノの練習を一生懸命し就職すると、ピアノの曲に合わせて幼児達が歌い、動き、曲を変えると次の行動にうつり、手を洗ったり、食事の準備をした等々、あの頃は幼児との毎日が楽しかった。今も思い出される。入園まもない一人の園児が園から飛び出し、追っかけている新米先生の私を見て、自転車で通りかかったクリーニング屋さんが助け船、「先生この袋に入れ川に捨てましょうか。」それを聞いた園児は慌てて園の中に入っていったことなど。

保母の仕事は四年間だけで家庭に入ったが、あの頃に学んだことが私の人生の基盤になり生きてきたように思われます。

大学の今後の発展と同窓会の皆様の健康をお祈りいたします。



〈あの頃、そしてあの人〉

保母養成3期 村上百合子

保母養成所創立時、月謝無料、奨学金月800円支給という入学案内は、魅力あるものでした。高校卒業後、就職するのが一般的でしたから、校舎のあった藤崎界限は、すっかり変わり、公的施設、住宅の建ち並ぶ、緑豊かな街となりました。

短大昇格運動に力を尽くされた原田文枝先生(当時保母養成所所長)、学生指導の村上昇先生も既に亡くなられ、クラス会も途絶えています。

先日、奈良を訪れた時、Hさん(同期)に40年ぶり会いました。彼女は知的障害者のためのボランティア活動中で、その法人化について熱っぽく語ってくれました。

卒業生は各々の職場その他で活躍し、既に定年まで勤め上げた人もいます。

学生時代、グループワーク実習で「保母の社会的地位を高めるには？」などと語ったことも夢のようです。今では「保母」は女の子の



将来なりたい職として上位ランクを占めています。縁あって夫は九大退職後県立大の非常勤講師を務めています。

<日光・群馬同期旅行報告>

保母養成4期 中林淑子(原田)

定年退職後7年を迎えます。昨年、4期生20名は10月15日より2泊3日の旅程で日光と群馬の富弘美術館を訪れました。宇都宮の吉尾国子さん、横浜の梶原京子さんの献身的なお世話で奥日光のすばらしい紅葉を賞で、星野富弘さんのほのぼのした原画に出会い心豊かな気持ちで旧交をあたためることができました。中には40数年振りにお会いする方もあり、一瞬どなただろうかと思っても、挨拶を交わすうちに声、表情から目の前の60代の友が学生時代の20代に戻るのなんとも不思議な思いでした。北九州、岡山、高知、そして今年の日光・群馬と修学旅行さながらの度も来年は元神戸市立保育所に勤めていらした河毛淑子さんのお世話で神戸と有馬温泉を予定しています。今まで参加できなかった同期の方々、神戸でお会い致しましょう。再会を楽しみにしています。



保母養成所4期生 日光旅行(平成14年10月)

<ふれあい事業を通して>

保母養成7期 佐東恵子(北山)

皆様お変わりございませんか。私は平成14年5月より出水市高齢者ふれあい事業の一つとして月に4回程、私立保育園の年長児さんに水墨画と生花、時には手作りお手玉や折り紙などを教え、いっしょに遊んでいます。子ども達は、はじめての体験にドキドキしながらも達成する喜びも知ったようで、出水市主催の絵のコンクールにも入選、特選と入り、子ども達の底力に驚いております。生花はオアシスの入った空カンの中に園が準備した色とりどりの花をハサミで切ってさすのですが、その事が最初はなかなかできなかったのですが、回を重ねるとできるようになるのです。



水墨画は、水、筆、タオル、墨汁を準備された中に最初は正座をして紙面一杯に描くのがとても大変らしく

拒絶反応を示す子どもも居ましたが、描き方を教えるうちに興味を示してきました。紙面にもF6、B4、はがき大と描き方を変え、色彩も加え、自分に配達される年賀状作りや卒園式の壁面制作まで発展し、親子共々満足そうで、本当に嬉しい1年間でした。今年も続けております。



<手話との再会>

社保短9期 平野加代子

同窓生の皆さん、お元気で日々ご活躍のことと思います。9期生の皆さん、お元気ですか。社保短を卒業して早や26年が経とうとしていますが、今ひとりひとりに与えられた場で、日々、前進されていることと思います。私は思春期に入って何かと難しいふたりの男子と反抗期かなと思わせる小学生の男子の三人と日々向かい合っています。時にはしんどくなることもありますが、そんな時には、今取り組んでいる“手話”のテキストを抜けてみたりしています。



社保短時代には手話サークルに入って活動していましたが、卒業と同時に離れてしまっていました。長男が保育園に通っている時、ろうあ者のご夫婦に出会って以来、再び指で話すことの魅力に引かれて、数年後の今やっと、又学び始めています。手話通訳士になればと思っていますが、なかなか難しいです。ぼちぼち頑張っていきたいと思っています。9期生の皆さん、お会いしたいですね。

<あふれるような社保短の思い出>

社保短16期 畔川智子

昭和38年生まれの私はめでたく(?)今年から介護保険の2号被保険者になりました。

私は社会福祉科卒業後大阪の金剛コロニーで働き、その後しばらく北海道で遊んでいましたが、実家の熊本に戻ってからは、共同作業所ホープ印刷(障害者は多かったが、普通の会社みたいでした)で働きました。結婚後現在の富山県に住み、しばらくは子育てにかこつけて家にいたのですが、2人目の子供が1歳になった平成8年から自宅近くの老人保健施設の相談員として社会復帰、スタートしました。現在は同事業所の居宅支援事業所のケアマネージャーとしてわからないながら、毎日毎日仕事と家事(ほとんど家政婦状態。男女共同参画はいずこへ)に追われて暮らしています。(現在子供は3人です) そのような毎日の中で同窓会会報に寄稿できることを感謝しています。

たくさんある社保短時代の思い出の中でも印象深いのはつくしんぼ・障問研(しょ〜も無い研究会ではなく障害児者問題研究会)湯山荘・すずかけ寮・木造校舎(私達は木造と新築の丁度建替え期に学生でした)と浜省でしょうか。私の所属していなかったアップル(人形劇)やポテコ(歌声コーラス)も印象深いサークルでした。一つ一つ説明をしていると会報すべてを埋め尽くすことになりますので控えますが、学生時代はとにかく、色んなことに悩み、先輩方につれられて活動し、楽しい思い出もしたし、社会の色々な問題にも触れ、先生方には親切に教えていただいて、何よりたくさん仲間が来て、又昔みたいにみんなで西原先生の家でコンパしようよって感じです。平野先生も呼んでねって。

現在では福祉系の学校も軒並み増えて、専門学校で介護などのコースを設けている学校も多くありますが、実習学生などを見ていると就職としての福祉という観点が強く(不景気ですから何とか安定した?仕事にということもわかりますが)自分の向き不向き・意欲・人間をみつめる暖かさなど、基盤ができてきているのかなあ等、老婆心も働かせています。

老人福祉分野は福祉の中でも注目度が高く医療や、介護、住宅、ひいては家族間の問題まで幅広く関連しており一層の知識と、自己の研鑽が要求され、利用者・家族・他の専門職種と連携する機会も多く人間関係の上でもうまく立ち回れるかなど課題も多様ですが、社保短で築いたたくましさとおおらかさで何とか社会の役に立って行ければと思っています。(校歌みたいになりました)

末筆になりましたが、同窓会の益々の御発展をお祈りいたします。



<先輩・後輩・つながりの中で>

県大1期 久門 なほこ

福岡県立大学創設10周年、看護学部開設おめでとうございます。

私が入学した平成4年度は、社会福祉保育短期大学から四年制大学に移行した年でした。

先生方をはじめ、多くの地域の方や社保短の先輩方、級友に支えられ、楽しい充実した4年間を田川市で過ごすことができました。

社会人になって7年目の現在、高齢者・障害者在宅福祉サービスの仕事をしています。わからないこと、失敗が多く利用者から学ばせてもらうことがたくさんあります。近くの他事業所や私の職場では、級友、社保短の先輩や県立大学の後輩が、すばらしい仕事をして地域に貢献しています。自分の足りない部分をい

かに周囲に支えられているか痛感する毎日です。2年ほど前に故保田井先生から「本質的なものを大切に働いていくこと」と言葉をいただきました。何かつまずくと思いついてもうちよつと努力しようと思いません。

<近況について>

県大2期 今村美穂(教授田)

大学を卒業後、北九州市内の急性期病院にMSWとして就職しました。前任の方の退職に合わせて採用され、わずか2週間の引き継ぎを経て一人になった日、保険も所持金もない男性が救急車で運ばれてきました。新人で何も分からず、オドオドしながら面接したことが今でも忘れられません。それからとにかく必死で、怖い先生や恐ろしい看護婦長さん方に厳しく、そしてとても温かく励まされながら患者さんに向き合う毎日でした。そのうち病院もおおきくなり、老健や療養型病院、回復期リハ病院での相談業務を経験させていただきました。私生活では結婚、出産を経て今年の3月主人の実家のある熊本県荒尾市に転居しました。現在は穏やかな自然と優しい両親、夫、娘に囲まれて暮らしています。絵を習いに行くなどして今の生活を楽しみながら就職先を探しています。また新たに、やりがいのある仕事をみつけて家庭と仕事をがんばって両立させていきたいと思っています。



<面白い関係>

県大2期 山田敦子

卒業生の皆様におかれましては、それぞれの場所でご活躍のことと存じます。現在、私は神奈川県福祉職として知的障害児者施設の児童課に配属されています。毎日パワーあふれる子ども達と共に楽しく、元気に過ごしております。

学生時代、私は社保短最後の卒業生であり、県大最初の編入生でした。2年次に編入となりましたので、県大1期生から見ると、私は社保短の先輩であり県大の後輩であるという面白い関係となりました。県大での同期は2期生ですが社会福祉学科3期生とも机を並べて学んだ経験のある私は2期生だけでなく彼らとも同期のような感覚で同窓会にも参加させて頂きました。先生方にも本当にお世話になったことを感謝しています。素晴らしい友や先生方との出会いは私にとって大きな財産となっています。遠く神奈川まで来てしまいましたが、今後ともよろしくお祈りいたします。県大の益々の発展をお祈りいたします。



HOT MAIL 私のこの頃

< 保母養成所 >

養成1期 渡邊エイコ (白土)

公立保育所に40年勤務し、退職して10年、地域の家庭教育で学びつつ、4月に古希を迎え、人生を楽しんでいます。高2の孫が喜びの一言、私も福岡県立大学にいかうかしら・・・と。皆様お元気でご活躍ください。

養成1期 浦谷富士子

保母養成所を卒業して、早や半世紀を迎える今日この頃、社会機構の大きな変化に戸惑いを感じながらも、次代を担う子ども達に夢をかけて、日々保育に専念いたして居ります。後輩のみなさんのご活躍を同窓会情報の中から拝見したして居ります。なおいっそうのご躍進のほどを祈ります。

養成2期 西福江

高取保育園の園舎を50名増員、増築の為3月末に工事完了、目下200名定員をオーバーしながら、賑やかな保育を楽しんでおります。二期生稗田美知子さん去る4月18日に亡くなられております。

養成2期 仲野道子

趣味の手品を生かして、老人館で指導したり、保育園や各センターで招待され披露させてもらっています。

養成2期 村上みさ枝 (葛山)

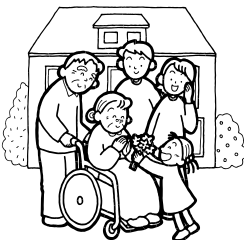
保育の前線を離れて、より膨大な年月が流れました。周辺の子どものすさまじさや或いは暖かく善意の子どもの成長に日本の未来を予感しています。私も夫を亡くし、子や孫も遠くに住み、同窓生の訃報も聞き、残された自分の人生をどう生きるかに腐心し、若い頃からの趣味を続け、この地での文化活動に携わっております。夫に転勤により、北九州、大阪とまわりこれが最後のすみかになる水巻で、静かに暮らしております。母校の教育内容の充実や社会への貢献を知るにつけ、前身である保母養成所に学んだことを誇りに思っています。ますますの御発展をお祈りいたします。

養成2期 久保山節子 (田中)

保育所勤務27年にして、特養大刀洗幸生苑を設置、施設長として7年目に浮羽郡吉井町に特養を設置、施設長として現在に至っていますが、生涯現役で頑張りたいと思っています。社会福祉法人ふたば会の理事長である主人が協力してくれますので保母養成所で培った学問等が生かせ幸に思っています。卒業して50年目かなと数字にうとい年になり、痴呆になりませんようにと毎日心で願っていますが、思いはなつかしい百道の涙が目に浮かびます。

養成2期 小田美知枝 (宇戸)

母の介護のため、4年前に専業主婦になりましたが、1月に母を見送ったので今はのんびりと時間を過ごしています。数年間は供養のために心を注ぐことになりましたが、幸い実家の母がまだ元気にしていますので、親孝行を今のうちにしておこうと心に決めています。子供3人のうち、2人がまだ学生ですのでなにかとお金がかかります。それで家事に影響のない勤めはないかと思いつめがらしている今日このごろです。



養成2期 篠崎友子 (万谷)

卒業後保育所(公立)に勤務。38年間無事勤め退職。昨年古希を迎えました。在職中から趣味を(詩吟、舞踊)などして過ごしたおかげで、現在も趣味仲間が沢山。第2の人生は幸せです。元気な間、人の為、自分の為にかんばりたいと思います。

養成2期 岸上美智子 (岸上)

“添え木して直ぐ育てよ、稚児桜”をモットーに保育所に38年、養護老人ホームに二年、保母として主任、園長、所長と40年に亘り勤務、その時々のお会い、ふれあいの中で学んだものを今度はお返しに番と、退職後は温めていた手作り玩具等をその心を若き母親や保育士さん達に啓蒙しようと乞われるまさに東奔西走の今頃です。又ボランティア団体に入り、フィリピン方面に植林の旅に出かけます。黒崎のコムシテイ子どもの館でも、遊び工房等、子どもとのふれあいを求め楽しんでます。年2回、全国童話人協会の全国大会に出席して交流の中で、学習し実施しています。老いてなお、好奇心いっぱい、何事にも挑戦、生甲斐を感じてるこの頃です。

養成2期 梅崎昭子

いま、子供たちにとっては、受難な社会状況にあります。私は以前、児童相談所や、児童施設に勤めていましたので、その経験を生かし、子供の悩み相談のボランティアをしています。大半は高校生年代の非行相談で、“どこに相談に行っているのか、子供を殺して自分も死のうと思っていた、と悩んでいる親御さんばかりでした。この年代の子供たちは、社会の受け皿がなく、放置されている状態ですから、非行児対策も後手にまわり親御さんはパニックになって本当にお気の毒に思いました。私は悩みをしっかりと聞き、私個人で対応できない事は、警察や関係機関に連れ立って、即解消に努めました。また、ストーカーに追われていた娘さんの件も救ってやれることができました。他にも困っている親御さん方に手をさしのべようと思っても、非行問題はむづかしいです。世の中の人々が、もっともっと、児童福祉のこと知ってもらえば、少年非行も虐待も少なくなるのではないのでしょうか。特に非行問題は「ケースワーク(個別処遇)が一番の決め手だと思っています。「少年法の前に児童福祉法で子供は守られます」と今後も強く訴えていきたいと思っています。

養成2期 佐山幸子 (古澤)

- ・市立永犬丸市民福祉センターボランティア代表として月1回子育てわいわいルーム(市保健福祉局主催)。
- ・市立子ども館にて祝日、土日曜日、夏休み冬休み春休み期間のイベント企画実施(紙芝居、手作り工作、うた、手遊び、ゲーム)。
- ・北九州児童文化連盟理事として年間行事(児童文化劇場大人、子どもの語りべ)。
- ・北九州市立図書館協議会委員
- ・全国童話人協会会員として(春、秋に2回)東北から沖縄まで小学校、幼稚園、保育園での無料出前公演。15年度、7/18~19八戸、11/21~22北九州門司港で開催。※北九州子ども館でのボランティアには同窓生も多く活動しています。上記の件興味のある方はどうぞお出かけ下さい。お待ちしております。

養成2期 井上壬子 (大月)

59歳で退職してすでに9年がたちました。現在健康第一をモットーとしてグランドゴルフ、ダンス、健康体操、舞踊、古典に親しむ民生児童委員会等を通して、地域に根をはって楽しんでます。時には地域からお呼びがあり、子育て等について講師をおひきうけすることもあります。孫と重なり勉強になります。保育ひとすじに歩いてきてよかったわ・・・私の息子たちもお母さんはいつみても明るいねと喜んでます。

養成2期 田尻真智子(田尻)

熊本市役所保育課を37年勤務、退職後11年になりました。現在の市の児童館で造形教育の講師として、子供達と楽しく遊んでいます。又ボランティアとして奉仕をしています。事務局の皆様にお世話になり感謝しています。

養成3期 松田幸子(加藤)

卒業して早40数年たっていますが、職種は違いますが、博多駅の名店街でお茶の販売員として元気で働いております。

養成3期 宮原千恵

保育現場をとりまく人々の変化におどろくやら、むなしいやらと感じつつ、子供の本質は変わりませんので、時を楽しんで仕事しています。

養成3期 木村博子(貞永)

学校法人 木村学園茶山幼稚園理事長、園長

養成3期 村上百合子(飯島)

退職してやがて20年近くになります。月1回の絵本の研究会に出席する以外、保育のこととは遠ざかっています。乳幼児のおもちゃ、絵本には関心をもって集めつづけています。3人の子どもも独立し、夫も退職し2人暮らしの静かな毎日です。保育関係の本のあふれている様子の今、就職した当時は楽譜も思うようになく、主任保母から楽譜を借りて手書きで写したことなど、うそのようです。毎週1回の中国語教室へ通ったり、月1回の朗読の勉強会に参加したりしています。

養成3期 川村正子(阿部)

離職して早や、14年目、一病を宥め乍らマイペースで籠り勝ちの日々です。5月に一茶を訪ねる旅に参加、諸々の風土や歴史上の事物を見聞でき、心新たにしました。世の中の変化に自嘲気味乍ら、感心したり、驚いたりしています。しかし今迄素通りして来た自然の草花や、見馴れぬ鳥の訪れに心樂しむ、極平凡な今日この頃です。それにしても物忘れは加速、始終物捜ししている状態で、体の衰えと共に変化とはこういうものかと実感を持って認識中です。

養成3期 金崎正子(木下)

同窓会の役員及び編集委員の皆様お世話様です。感謝。卒業して早や半世紀近くになり、卒業生名簿の物故者の数も多くなり淋しくなりました。同期生との電話の中、保育士の「登録をどうしようか」など……。70歳近くになっているので、考えてしまいましたが、やはり登録することにしました。保育所約40年、現在は特養老人ホーム勤務介護職をしています。自分が老人なのにまだまだ意欲満々……。入所者に感謝されている毎日です。

養成3期 管英子(管)

5年間保育園に勤務したあと、出産退職いたしました。その後現在に至るまで主婦を努めております。原田先生、村上先生、菅先生など懐かしく思い出しております。

養成4期 真隅泉都子(大里)

細々とガーデニングを始めました。

養成4期 宝蔵寺福子

福岡県立大学と同窓会の発展をお祈り致します。名簿の作成にお疲れ様です。

養成4期 関口スミ子(高城)

私幼を経営(学校法人 稲築幼稚園 園長)

養成4期 重富篤子(小島)

結婚43年目を迎え、二人の子ども達も嫁ぎ、老人夫婦二人の生活です。嫁いだ娘達は遠い地で、先輩に地域の人たちに助けられながら子育て真っ最中です。子育ての応援に行きたがっても遠くへ行けません。娘達がお世話になっている分を、今住んでいる我が地で子育て支援をと思って、子育て支援のボランティア活動をしています。「遠くの親戚より近くの他人」を合い言葉に、子育て真っ最中の母親に寸暇を与え、息抜きをさせてあげて、地域で子育てをと頑張っています。かわいい子ども達と若い母親から元気をもらっていつまでも若く、輝きたいと思っています。

養成4期 仲吉千代子(高安)

保母を天職と思い、30年余人生の半分を楽しく送りました。今おつりの人生?と思っていますが……。保育科が発展的解消となり、淋しさを禁じえません。母校の発展を祈りつつ、残り少ない人生を私らしく生きていくつもりです。

養成4期 川村千佐子(毛利)

40年間保育所に勤務し、平成9年3月定年退職しました。現在は菜園や書道、華道を学びながら田舎暮らしを楽しんでおります。先日福岡ドームへ出かけましたが、遠く志賀島や能古島を眺めていると百道の海岸を散歩したりした松美寮での生活や学生生活が急になつたかしくなりました。卒業して早46年の歳月が流れました。長いようで短く短いようで長かった46年でした。同窓会の益々の御発展をお祈り致します。

養成4期 河毛淑子(井口)

38年間保育に携わってきた中で、思いがけない出来事がありました。阪神淡路大震災です。幸い保育所は大きな被害はなく、子供たちも職員も無事だったので、保育所は避難所となりました。児童館の一部を借りての保育でしたが、多くの方からたくさん励ましとご支援をいただきました。今でもあの地震が1~2時間後だったらと思うと胸がつぶれるおもいがします。その翌年退職し、脱都会!芭蕉の生誕地の近くで生涯学習教室の墨絵や伊賀焼を学び、点字図書館で盲人の方のための録音図書づくりのボランティアをしながら田舎の自然を満喫しています。

養成4期 溝部美祢子(中田)

保育園の正職員としては16年前に退職いたしました。が現在は1日3時間、週4、5日程度のパートとして、保育園でお手伝いをさせていただいております。保育所も昭和32年頃に比べると給料にしても労働時間にしてもずいぶん変わったと思います。

養成4期 糸静子(山本)

会長さんはじめ役員の皆様ご苦労さまです。看護学部の設置にともない同窓会の業務も多くなったと思います。私は九州保健福祉大学を3月で定年退職しました。(担当は保育論、児童福祉論、保育実習でした)4月から当大学と聖ウルスラ短大に非常勤で勤めています。福岡教育大学には「人間関係の指導法」の集中講義で毎年行っています。元気で働けることに感謝しています。

養成4期 北川伸子(樗木)

そろそろ、梅雨の時期に入ります。会員の皆様お元気にお過ごしのことと存じます。お陰様で私も無事過ごしております。現在会社の託児室で幼稚園前のお子様のお世話をしています。しばらくのお手伝いと思って始めたのですが、早や10年今年の夏は68歳になります。こんなに長く続くとは思っていませんでしたので、自分でもおどろいていますが、若い頃に何か職を身につけて社会の役に立つ事が出来たらと思い、養成所で学ばせていただいた事が、今こんな年齢になってもお

仕事させて頂いて、可愛いお子さん達から大きなパワーをいただきながら、頑張っています。

養成4期 地頭所洋子 (地頭所)

退職して7年目、染色織物教室に通って6年目になります。全くの別世界に飛びこんだ感じで、まだまだ戸惑っておりますが、デザイン、織り方、糸選び、染色そして織と、とても大変で失敗も多いです。でも完成した作品は大きな達成感もあり、毎日が充実しております。物を作ることによる喜びを、この年齢になって味わえることを幸せだと感謝しております。

養成5期 藤崎良子

六十六歳になりました。夫なく子なく、気楽な一人暮らしですが、老後の不安はあります。年金も先細りのようですし、今は公民館講座、福岡女子大の生涯学習、文芸同好会等に参加し、脳の老化防止に努めております。よろしくお願ひ致します。

養成5期 平川玲子 (上原) 年金生活

養成5期 黒岩和子 (樋口)

私は現在65歳、卒業して早45年、40年間公立保育所に勤務、退職後はファミリー・サポート・センターのアドバイザーをやっています。この事業は、子育ての手助けをしてほしいとき、子育てのお手伝いをしたいときこの両者が会員となって援助活動を行います。会員を通して保育所の時には分からなかった親の悩みや、考え方の違いに驚くばかりです。現在会員数1000人、毎日が色々な人々の出会いに、感動したり新鮮な刺激を受けています。まだまだ老人力を発揮していきたいと思ひます。興味のある方お力貸してください。

〒805-0019

八幡東区中央2丁目1番1号レインボープラザ5F
育児相談センター内
ほっと子育てふれあいセンター TEL 093-663-3080

養成5期 合代敦子 (瓜生)

築63年になる保育園園舎建て替えの為に奮闘中です。平成16年4月頃完成の予定です。お陰様で60定員が70人~80人で賑やかで、今回は90名定員になりますが、90名も園児が集まるのかな?私の孫は10人ですが、もっともっとがんばってもらいましょうかしら・・・。近況報告です。

養成5期 溝尻宮子

平成10年に市立保育所を退職して5年目です。日々趣味で時間を過ごしております。私が入所した頃は、1クラスの2学年で小じんまりとした養成所でしたが、今では大学まで昇格して光栄に存じます。益々の御発展をお祈り致します。

養成5期 金子タツエ (中島)

退職して10年経ちました。孫のおもりをしながら近くの保育園にパートとして勤務しております。また民生委員、食生改善推進委員として、微力ながら地域の活動しています。趣味として、日舞、スイミングの教室に通い、大変欲張った生活ですが毎日忙しく頑張っています。最近ボランティア活動として小学校の本の読み聞かせ等勧められていますが、体がいくつあってもたけません。若さを取り戻したい気持ち一杯の今日この頃です。

養成5期 松井曜子 (福田)

お陰様で元気に過ごしています。北九州市立保育所に約39年定年退職後民間の保育園に2年間勤務致しました。現在子どもの館でボランティア活動をさせていただいています。ボケ防止のためウォーキングや手編教室にも行っています。事務局、役員の皆様に感謝を申し上げます。会の発展と皆様方のご健康を心よりお祈りいたします。

養成5期 藤多節子 (庄野)

福岡市役所を退職し、早や5年(公立保育所)所長。現在は校区の中で婦人会長や各々の役が与えられ、地域と共に生きてます。保育という仕事が今も役立っています。感謝してます。学校の益々の発展をお祈りいたします。

養成6期 中山タツ子 (永野)

木々の緑が鮮やかになるこの頃です。同窓会会報編集委員の皆様には大変お世話になっております。同窓会会報や会員名簿などで近況など知る事が出来、いつもうれしく思っております。卒業以来、43年が過ぎました。保育者としての誇りを持って生きてきましたが、現在は家庭にいます。県立大学のますますの御発展をお祈りいたします。

養成6期 北野 豊子 (福田)

平成10年3月末日付けで無事定年退職し、4月より5年間事務の仕事で嘱託勤務しました。4月より(H15年)仕事人間をやっと卒業し、これからが青春といういと習い事を始め、楽しく生活しています。4月に生まれて初めてハローワーク(失業保険)に手続きで足を運びましたが、人の多さにびっくりしました

養成6期 矢津田克子 (山内)

定年退職して丸4年、のんびりと主婦業をやっています。家業の鍼灸院の雑役と90歳になる一人暮らしの母の通院の介助に喜びを感じてやっています。そして、今一番の楽しみは油絵を描くこと。個展を夢見て、やっています。

養成6期 沖野師子 (渡邊)

平成8年に自分の病気が発見され、大事をとり、治療を始める為にやむなく58歳にて退職しました。その後娘の嫁ぎ先に近い現住所に平成10年に引越しました。仕事に就きたくても再発することもあるとのDr.のお話もあり、様子を視てからと思っているうちに、もう65歳になっていました。今は定期的な検査と時折点滴、投薬といった状態です。孫の世話をしたり、カルチャーセンターへ行ったり、車を運転し近場の名所を回ってみたり、母の病院へ見舞いと、結構動き回り、病気のことまで忘れていたことがあります。趣味の一つにガーデニングも始め、大変有意義な日々を過ごして

〇 同窓会事務局へのお問い合わせ

同窓会専用のFAX電話を設置しています。同窓会事務局へのお問い合わせは下記の電話番号までお願いいたします。

現在、事務局作業日(毎週金曜日10:00~17:00)には電話によるお問い合わせを受けておりますが、金曜日以外は留守録設定となっております。お名前・卒業期・お電話番号を留守録メッセージに残していただければ、こちらからご連絡させていただきます。FAXの場合はいつでもご送信下さい。

〒825-8585 田川市伊田4395
福岡県立大学内
福岡県立大学同窓会事務局
TEL (FAX共通)
0647-42-2777

おります。

養成6期 杉山和江(吉川)

現在登録ヘルパーをしています。60歳になるまで10年近く臨職で保育をしていました。おかげで元気で日々役立つ喜ばれる嬉しさに感謝しつつ、生活しております。

養成6期 久保豊子(柳原)

倉敷市立保育園及び倉敷市役所に36年間勤務し、定年退職となり、本年度で5年目を迎えております。現在は、岡山短期大学に勤務し、微力ながら、保育士養成に頑張っております。福岡県立大学同窓会のますますの御発展と同窓会の皆様方のご活躍をお祈り申し上げます。

養成6期 壇智子(吉田)

保育の道から遠ざかって30年余り、わが子の成長と共にいつしか幼児教育への関心も薄れていましたが、今年3月広島市へ転居。孫の保育園の送迎をするようになって、その変化、向上に驚いています。例えば発表会で演奏されたTVアニメ、ビートルズの曲等。多様化された保育内容で今の保育士さんのご苦労が偲ばれます。

養成6期 福井尚子(江田)

昭和34年度卒業しました。母校は懐かしくいつまでも思い出の中に鮮明に生きています。五年半ほど保育として勤務しましたが、結婚後は寺の坊守として現在に至っています。いつも全力でことに当たる精神は養成所で学びました。母校の発展を心から念じています。

養成6期 堀 睦子(吉井)

若葉薫る五月、菖蒲の花がきれいな季節です。同窓会の皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。今年3月で嘱託の仕事もやめて、4月からはのんびりでもなく、忙しくもなく過ごしています。(友達とのお芝居や食事会、公民館でのフォークダンスに参加等)同窓会の役員の皆様いつもご苦労さまです。皆様のご活躍とご健康をお祈りいたします。

養成7期 三船ミサキ(蓮尾)

一人で生活しています。知人のお子様を一人お預かりして保育園のまねごとをやっています。

養成7期 田中也子(油谷)

施設保育を退職して8年目、好奇心のままにいろんな場へと行動し、今ではボランティアを中心に卓球、フォークダンス、オカリナ等楽しんでいます。一番の楽しみは市内周辺の7期生で、年4回くらい集まって折り紙やおしゃべりをし、元気をもらっていることです。今年福岡の宗像市で7期会を開催するので、遠くからの友と久しぶりに旧交をあたため合えるのが楽しくワクワクしています。

養成7期 村上幸代(渡辺)

同級生がほとんどリタイアする時期、現役で働ける幸せをかみしめています。保育士の登録制度もいよいよ本格化することになり、年数の長さを実感しています。又印刷もガリ版からパソコンと時代の移り変わりを感じます。学生時代・・・特に養成所はなんでもさせてもらったお陰で、パソコンも必要なことは大体クリアして仕事に支障をきたす事なく頑張っています。近況報告まで。

養成7期 山下光子

退職4年目。今からが本当の人生かも知れません。明

るく元気だと思っております。

養成7期 今木智子

福岡県社会福祉協議会で嘱託職員として勤務しています。福祉職全般の相談、求人紹介斡旋等とお手伝いしています。

養成7期 森光千佐子(今村)

昭和35年4月より、平成12年3月31日までの40年間県立若久緑園、久留米児童相談所、筑後いずみ園で働いて来ました。退職後、南筑福祉事務所で2年間、家児相で家庭児童相談員として親や子ども達に接して来ました。言えることは、如何に生活の基盤である家庭の根っこが、しっかり根づいている事が大切であるかという事です。根っこがしっかりしていれば、少々のもでも乗り切れると思います。私達大人は子どもをしっかり心身共に支えてあげねばと思いつつ、40余年福祉に取り組んで来たと思います。今は体力作りにウォーキングをしながら短歌とちぎり絵教室に通っております。後輩の方々も年々多様化する子ども達に真心を持って接してあげてください。頑張ってください。

養成7期 松原千鶴子(溝口)

平成12年3月で退職しました。

養成7期 春山和寿子(小泉)

保育養成所を昭和35年に卒業後、3年間保育所に勤めた後、結婚大阪に来て40年近くになり、すっかり大阪人となりました。娘達は既に嫁ぎ、孫は4人、今は夫と2人暮らしです。子供が好きで始めた書道塾も27~8年となり、今は逆に塾の子供達に元気をもらいスイミングや、ウォーキングを楽しんでいます。又卒業以来、ずっと続けている7期会に出席させてもらうのも楽しみです。

養成8期 村里久江(伊藤)

平成13年定年退職後、養成所8期生の還暦祝いを兼ねた同窓会が福岡市内で開催されました。久しぶり同窓生に逢え懐かしく又時の流れを感じたところです。お世話をしてくださった方々ありがとうございました。仕事を退いての2年間はアツという間にしまいましたが、現在はマイペース。月1回の子育て支援のボランティアと高齢者とのふれ合いボランティア活動に参加しております。時折、孫を相手に遊んだり、下手の横好きで詩吟の練習もしております。地域の人達との関わりも私にとっては新鮮なものです。

養成8期 野島康子(内田)

二年前(平成13年)の3月に40年間勤めました保育現場を退職しました。ただ今専業主婦です。でも少々期待していた生活とは異なっています。現在はボケ防止に新聞にくまなく目を通し、月に一度の山歩きのため、足腰の鍛錬に日々のウォーキングに励んでいます。

養成8期 渡邊直子(佐藤)

62歳になりました。37年間保育生活に携わってまいりました。有意義でした。松林の中の養成所時代が懐かしく、同窓生にお会いした時は肉親にお会いしたようです。(何期生の方でも)現在は退職し、秋月という山の中の素晴らしい自然の中にどっぷりひたって、野菜づくりや、お寺の仕事で歩いて来た人生をゆっくりと顧みる日を与えていただいております。元気でーす。

養成8期 藤木悦子(白谷)

定年退職して早や2年がすぎました。今は年老いた両親の世話をする毎日です。2年前同期会を開いてくださった方々に御礼もうしあげます。久しぶりに会っ

て懐かしいお話ができ、楽しい一時でした。又お会いしたいですね。お互いに健康に気をつけて頑張りましょう。

養成8期 川野蘭子（庵原）

定年退職後、早くも二年が過ぎ、同居している長男家族の子育て応援をしながら、退職前にはゆとりを持ってできなかった興味の絵画、陶芸、山登りを楽しんだり身近な町の歴史探訪まがいなことをして居ます。社会へのお返しは出来ていませんが、今出来ることを精一杯楽しんで居るところです。

養成11期 石田絢子（柴田）

元気な高齢者がいつまでもいきいきと元気で生きていけるようにと、「元気かい」の介護予防ボランティアを一昨年10月からスタートさせ、目下懸命に活動中です。

<社保短>

社保短 福祉科1期 大塚佳苗（大里）

短大卒業後、上京して専門学校に通い、そのまま結婚したので、ずっと東京に在職しております。東京は35年住んでいることになりました。子育ての中で、自宅を開放して家庭文庫を始め20年になります。近所の子どもたちに本の貸し出しや読み聞かせなどをやっています、また別の活動として、立川の小学校へ本やお話（語り）を届ける会も始めて8年になります。すべてボランティア活動ですが、その活動のために準備や研修などに忙しく毎日を過ごしています。地域での活動の他に、全国的な組織としては「全日本語りネットワーク」の運営委員もやっています。こちらも「非営利」なので、ボランティアということになります。今までも、この先もインカムのある「仕事」はないと思います。

社保短 保育科1期 古川啓子（迎）

社会福祉法人 三浦保育会三浦保育園 園長をしています。

社保短 福祉科1期 佐野真理（常岡）

もう卒業して30数年になります。白髪もぼちぼち目立つようになりました。子供達も大きくなり、これからの自分達の人生を歩いて行こうと思っています。休日には主人と映画に行ったり、犬の散歩が楽しみになりました。

社保短 保育科1期 杉本常代（松藤）

現在は無職（専業主婦）です。

○同窓会費納入のお願い

平素は同窓会の運営に関しまして、種々のご支援・ご協力を賜わりありがとうございます。現在同窓会は、会報の毎年発行を中心に、会員名簿の整理、大学事業への参加、助成等を行っていています。県立大学同窓会会員数も昨年度末で4千7百人を超えました。また看護学部の設置により、4年後より卒業生が毎年100名増となります。会員数の増加に伴い、郵送費、印刷費等は増大し、会報の毎年発行を阻む勢いです。一方不況の影響もあり、同窓会費の納入率は少しづつ低下傾向にあります。同窓会活動は会員の皆様の会費に支えられております。同窓会活動を理解いただき、会費納入にご協力下さい。

社保短1期 居川節子（一木）

学生時代、当時の国鉄で八幡から直方へ、直方から伊田の間は黒煙を吐いて走る列車に乗り換え、窓を閉めるタイミングが悪いと顔も服もすすだらけになったものです。又、今では昔の姿の半分になってしまったけれど、香春岳の一の岳、二の岳、三の岳の雄姿全てを2階美術室アトリエから、短大の校章そのままに見ることができました。卒業して35年、幼稚園、保育園を経て子育てに専念、現在は学童保育クラブの指導員をして7年目です。公設公営で60名の小学生が「ただいま」と帰ってきて、家庭のように兄弟のように放課後を過ごしています。現役の学生さん、学童に遊びに来ませんか。ボランティアも歓迎します。
北九州市豊山学童保育クラブ 093-671-3107

社保短1期 帆足まおり

現在、筑波大学大学院芸術研究科に在学しています。

社保短1期 吉田房子（佐藤）

結婚して鈴鹿に来ました。鈴鹿在住もはや20年。娘2人に息子1人、大学、高校、中学とか細いすねをかじられております。風向きによっては、F1の音が聞こえるような所に一家5人元気でくらししています。

社保短1期 倉田清子（大塚）

ごぶさた致しております。第一期生として卒業して、はや34年、県立大学の名前を聞くにつれ、校名はかわりましたが、なつかしさで一杯です。私自身子育てで途中空白がありますが、現在まで25年余り、保育士として子ども達のかわいい笑顔、泣き顔に囲まれ現在に至っております。今は0歳児専門の担任として頑張っているところです。そして、保育所をとりまく諸問題が投げかけられるにつれ、「はたして子ども達にとっては何？」と考え迷っております。又、時々県立大学の先生方の御講演を聞く機会がありますので、その時は何か親近感を持ちながら研修させて頂いております。今後ますますの御発展を心よりお祈り申し上げます。

現在の勤務先：新入ひまわり保育園

直方市上新入2047-1 Tel 0949-24-7800

社保短 保育科2期 藤野篤子

川崎市保育園退職後、出産、育児、子どもが大きくなってから、保育園の産休、病休代替保母。その後学童保育、老人いこいの家、等地域福祉に携わっていたが、同居の親の介護の為、退職現在に至る。

社保短 保育科2期 西川裕子（大矢）

結婚し、3人の息子ができ、三男がまだ大学生です。主人は定年まであと一息というところ。私は家で書道を教えています。週に三日がけいこ日です。ほとんど、書道で日々を費やしています。保育の方は時々ボランティアで子育てのお母さんの手伝いをしています。

社保短2期 渡辺春子（香月）

昭和48年に上尾市（埼玉県）の保育所に勤務して以来、まだ現役で頑張っています。当時に比べ、社会情勢も変わり、親達（保護者）の様も変わり、毎日対応に苦勞しています。でもいつの時代もこどもはかわいいです。

社保短3期 加藤珠美（北原）

卒業の翌年から現在まで、春日市の保育所に勤務しています。

社保短 保育科3期 高橋京子（河野）

今は保母の仕事に携わっていません。でもやはり心の何処かで子供達の声をきいていたくて、学習塾の雑

用で、がんばっています。年を重ねても子供への関心は、片隅に生き続けているみたいです。50歳をすぎ思うことは、夫婦、友達仲良く生きていけることが幸せですね。

社保短 福祉科4期 中西光恵(酒井)

平成15年4月1日より北九州市立槻田保育所に異動になりました。31年間の間、育児休業などとりながら、保育所の仕事を続けています。

社保短4期 吉田純子(桜井)

福岡南小を退職し、今は自宅におります。

社保短4期 日下部和子(日下部)

昭和46年に卒業と同時に、那珂川町立保育所に就職しました。今年、33年目。所長になり3年目です。毎日180名の子どもたちの声を聞きながら、生活しています。町立の子育て支援センターも併設していますので、名前ですが、センター長も兼務しているというのが、現在の状況です。3年前に県立大の卒業生が就職してくれました。同窓生は仲間が増えた感じで、嬉しいものです。実習生も歓迎します。

社保短 保育科5期 馬場裕子(河野)

4月に初孫が生まれました。

社保短 保育科5期 大塚則子(太田)

卒業して30年福祉施設(知的障害、身体障害、乳児院等)で働いて30年、あっという間の年月でした。結婚、出産、体調をこわしての病休、嬉しい事、つらい事、悲しい事いろんな経験をしながらも働き続けることが出来たのは家族のささえや同僚の励まし等があったおかげだと感謝しております。定年まで10年余り、諸先輩の方々を見習い、健康に留意しながら頑張っていると思っています。

社保短6期生 赤司啓子(小寺)

現在、遠賀郡芦屋町の町立保育所の方へ勤務しております。卒業してすぐですから、30年になります。毎日、こどもたちのエネルギーをもらって、頑張っています。仕事に毎日行けるといことは、幸せな事です。健康でなければ出来ない事ですから)同じ職場に同期の上四元さん(旧姓、山田)と一緒に、時々短大の事を思い出して、話をしています。

社保短6期 木下勢津子(木下)

30年前を思い出しております。社保短も県立大学と立派になられ、うれしいかぎりです。私は田主丸の方で園芸店をしております。

社保短6期 滝本真理子(角本)

特にかわりなく元気ですごしております。

社保短 保育科6期 木林節子(笠原)

北九州市立徳吉保育所で働いています。2人の娘がいます。長女は保育士として現在私立の保育園で悪戦奮闘中!次女はベクトリマーの専門学校を卒業して、ベクトショップで働いています。あと10年少しで定年退職ですが、できたら頑張って定年まで働きたいと思っています。

社保短7期 佐藤文子(数村)

卒業後5年間福岡で保育所勤務した後、結婚して釧路、東京、岩国、東京と転勤の為、日本各地を移動。その間、4人の子どもの間に生まれ、その子ども達も一番上は22歳と大きく成長しました。そんな中、ずっと妻業、母親業に専念し、近所の母親たちと育児、料理、趣味、生協活動と刺激を受けながら自分も成長。4年前、約20

年ぶりにお給料を頂く身となり、今は将来、夫とこじんまりしたお茶処を開けたらいいなと思い、紅茶、ハーブ、コーヒー、手作り菓子の勉強を兼ねて仕事しています。



社保短 保育科8期 入江貴代美(向野)

民営化移行のきびしい状況の中、まだなんとか就職園に勤めています。親になり子ども達、保護者の気持ちがようやく理解できるようになった今、ひとりひとりに寄り添った子どもの気持ちを大切にできる保育者でありたいと思っています。しかしすっかり年齢をとりました。

社保短8期 江藤稔子(金子)

保育所にずっと勤めています。主人、長男は社会人1年生、次男も来年春に社会人になる予定です。3男は高校3年生で、受験勉強にがんばっています。子育てや親育ての大変な保育所でもう少し頑張りたいと思っています。

社保短9期 田代田鶴子(草野)

保育園に就職して27年目になります。いろいろありましたが、我が家の子ども達も大学生、高校生となり手がかからなくなり、ホットしていたところに、私が病気になるてしまいました。いつも熱が出ても1日で下がってしまうような丈夫な体だったのですが、今度ばかりは8日間も熱が続き、さすがに参りました。保育園の子ども達が待っているのが早く行って行かなければと気ばかりあせるのですが……。健康で元気に働ける喜びをつくづく考えさせられ、もう若くはないのだから自分の体を大切にしながら、子ども達と毎日楽しく過ごしていきたいと思いました。若いお母さん方には安心して仕事や子育てができるようエールを送っていきたくと思います。

社保短10期 山田恵子(石田)

勤務先が変わりました。浅川幼稚園です。

社保短13期 宮崎百合子(織田)

結婚17年目です。中1の長男と小5の長女の母親となっています。現在、病院の事務をし、たまにはバレエもしながら忙しく毎日を過ごしています。

社保短15期 小林映子(井上)

中2、小5の子どもはブラスバンド、ソフトボール部に入り、私はその役員で休日は応援etc. 子ども会、PTAと毎年役員が回って来て仕事との両立に四苦八苦ですが、子ども達と体を動かし、共に感動し有意義な日々を送っています。事務の仕事に再就職して十一年、毎年国家試験を取得し、頼りにされながら働けることの楽しさ、面白さを実感しています。受験生になることは大変だけど我が子にとっては教育ママより同じ受験生の方が良いようです。

社保短15期 阿部麻由美(石策)

短大卒業後、運良く(?)地元の町立保育園に採用が決まり、転勤を繰り返しながら、現在は、志免保育園でかわいい子ども達に囲まれています。子育て支援に伴い、7:00~19:00の12時間開園となり、早出は6時過ぎには家を出て、遅出の日は20時近くに帰宅...という日々を過ごしており、さすがに40才ともなると「疲れがとれん!!」とぐちるようになりましたが、小6の息子と小3の娘に助けられ、気がつくとも20年も仕事を続けておりました。子育て、家事、仕事と(時には手を抜きながらも)自分なりに一生懸命頑張ってきたので、子ども達もちょっぴり大きくなったことだし、そろそろ自分の為の時間を作ってみようかなあ

どと考えたりもしている今日この頃です。

社保短 保育科15期 大宅由加利 (荒田)

6月1日に出産予定で、現在産前休暇中です。会報11号が完成する頃には、子どもをこの手に抱いているのだと思うと、とても神秘的な気分です。(何しろ初めての子どもです。)

社保短16期 村瀬瑞恵 (石丸)

二年前より、今治市職労女性部書記長をしています。「待機児ゼロ作戦」などという格好いいフレーズに隠された公的保育つぶしは許せません。攻撃は激しいけど、子供たちにとってよりよい保育を目指していきたいです。

社保短16期 森勝子 (大川)

短大を卒業してもう20年になるなんて信じられません。あつという間ですね。結婚して長男、二男の子育てに一段落した所で何かはじめようと思ひ、ホームヘルパーの資格をとりました。さあ!!という時に、思いがけず三男を授かりました。今の子供のかわいさをかみしめつつ、三人の子育てを楽しんでいます。短大の楽しい思い出、友達をなつかしく思います。卒業生の皆さんががんばっていると思うと、励みになります。

社保短17期 榎谷素子 (井上)

結婚して飯塚の街に来て、早や15年。今は特定非営利活動法人、こどもと文化のひろば『わいわいキッズいづか』の代表の方で頑張っています。子供たちが生き生きと育ち合う地域づくりをめざし、「生の体験活動づくり」を大切にしています。たくさんの人の中で育った中3、中2の男の子と小5の女の子、我が家の3人の子供たちはのびのびとすこやかに成長しております。母校の近くに住んでいながら、なかなか足を運びませんが、私も元気に毎日を過ごしております。硬式テニス部はまだありますか？テニスの方もぼちぼち頑張っております。

社保短17期 水口由美 (石松)

退職後、結婚出産し、只今第2子妊娠中。10月1日出産予定です。

社保短 保育科17期 鶴井雅子 (秋吉)

卒業後(S59年3月)、3年間鎮西女子学園附属、敬愛幼稚園、に勤務し、結婚退職しました。その後、宮崎市へ住むこととなり、保育園に10ヶ月パートで勤務し、子どもの手が離れた現在は5年目になりますが、ある会社の女性従業員のお子様を預かる託児所へ努めています。

社保短 保育科17期 森永真寿美 (秋本)

社会保育短大を卒業後、保育士の仕事をずっと続けています。その間3人の子供を出産し、その子たちも一緒に私の職場である文政保育園に連れて行きました。親の気持ち、働く側の気持ち。そして子どもの気持ちもしっかりわかるようになりました。まだまだ若さ?!で頑張ります。

社保短18期 広瀬真由美 (安藤)

結婚、出産と2年間がめまぐるしい毎日は、今子育てに追われています。勤めていた時と違って、新米ママなので毎日がハラハラドキドキと体力のいる事だらけです。いつまでも若々しくありたいと頑張っています。

社保短 保育科20期 松原和歌子 (内田)

昨年、長男の小学校入学を機に念願のマイホームを

建てました。(住所が変わっています。)仕事に子育てにと忙しい毎日を送っていますが、休みの日には子どもと一緒に花を植えたり、家でゆっくり過ごすことが増えたように思います。下関からの学生は少なかったのですが、保護者の方に社保短出身の方がおり、不思議な縁を感じております。

社保短 保育科22期 梅木真奈美
家にいます。

社保短22期 徳永博江 (池松)

2003年3月末で、福岡県立若久緑園が民間委託となり、施設保育士にピリオドを打ちました。4月から職域拡大にのり、保健福祉環境事務所保健福祉課配属となり、書類と悪戦苦闘しながら、行政の方面から福祉に携わっています。毎日忙しくも育児、家事、仕事とを両立させ(?)ながら、夫と息子(5才)との生活を頑張りすぎずにやっていくことに自分らしさをみつけた気がします。



社保短22期 袈裟丸孝美 (稲増)

7月20日に第3子出産予定です。結婚して4ヶ月目に子宮外妊娠で手術をしましたが、その約1年後に第1子を妊娠することができ、女の子を出産しました。その後第2子を望みましたが、なかなか授かることができませんでした。でも、ひとりでも子どもを授かることができたから…と欲していたところ、4年8ヶ月後に第2子を受かることができました。(女の子でした。)そして今回はちょっと早く、第2子とは1才7ヶ月あいて、男の子が産まれる予定です。子どもを授かる神秘さ、有難さ、幸せを感じて、今生活をしています。

社保短 保育科23期 坂田美由紀 (金子)

伊万里市の公立保育園に在職。平成11年に結婚、12年に長男を出産。14年に長女を出産し現在育児休暇中。

社保短 保育科25期 後藤田牧子 (清田)

保育とは全く関係のない仕事に就き、同じ会社の人と昨年秋に結婚しました。半年経った今、社宅にはいることになり、引っ越し真っ最中です。仕事も続けているので、とても忙しい毎日を送っています。

社保短 保育科25期 岡崎桜子

今年(平成15年)の3月に、久しぶりに社保短の同級生7人で集まりました。場所は佐賀県の唐津市で・・・!玄界灘の美味しい魚を頬張りながら夜中の3時すぎまで学生時代の思い出話や、それぞれの近況報告に花が咲きました。皆ちょっとだけ増えた体脂肪やお顔のシワが気になっているみたいで、「10年」という時間の経過を実感したところです。(笑)しかし、短大時代の友達は久しぶりに会っても、緊張せず、何となくホットできる空気がありますね。メンバーの中には結婚した子もいるし、九州各地から集合することになるので、度々会うことはできませんが、また秋ごろの再会を約束してそれぞれ帰途につきました。

<県大>

県大 社会学科1期 池下英治

現在、人吉市観光振興課勤務。妻、子(男)一人です。

県大 社会学科1期 丸野亜希子

相変わらずの日々を過ごしていますが、今年8月上

旬に2人目を出産の予定で、只今大きなお腹を抱え、奮闘中です。4月下旬から約3週間入院しました。初めての経験でしたが、やはり健康は大切だと実感しました。

県大社会学科1期 高田清康

大学卒業後、ヤマエ久野(株)に就職し、3年間頑張りましたが、一身上の都合で退職し、現在クインタイルズ・トランスナショナルジャパン(株)でMR活動しています。人の命に関わる薬に関する情報提供が主な仕事で、非常にやりがいを感じて仕事しています。

県大1期 橋田由香

現在、医療事務の仕事をしています。

県大1期 中山泰司

大学を卒業してから3年間、子どもに関わる仕事に就こうと試行錯誤し、現在「げんきっこくらぶ ほっぶ」で現場責任者として働いています。ここでは障害児レスパイトサービスをしています。レスパイトサービスとは放課後、土曜日、長期休校の間、障害児を預かることで家族に一時休息をしてもらうというものです。私も一人の娘をもつ親として、子供をもつ親の気持ちがよくわかります。ですから、毎日子供を預けている親御さんの気持ちを考えながら、子ども達と楽しく遊んでいます。色々まわり道をしましたが、ようやく子供に関わる仕事に就くことができ幸せです。

県大 社会福祉科2期 栗原麗子

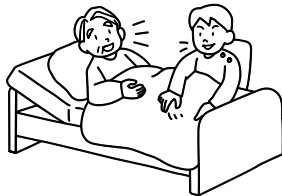
卒業後、老健で支援相談員として5年働き、現在は一般HPにてMSWとして働いています。ケアマネジャーの研修などでは、同級生と会えたりし、みんなの近況を聞き、またPOWERをもらってがんばっています。

県大3期 堀川順平

大学卒業後、平成10年12月より金融機関に勤めていましたが、平成15年3月で退職し、平成15年4月より黒崎(北九州市八幡西区)にある“八千代工芸舎”という知的障害者の授産施設に勤めています。転職を機に一人暮らしをやめ、今は実家から通勤しています。仕事はとても忙しいですが、充実した日々を過ごしています。福祉のことをもっと勉強していれば良かったと思いますが、今は前向きに一から勉強していきます。今が一番最高です。

県大 社会福祉学科4期 関亜由美

母校を卒業して現職場(特別養護老人ホーム)に介護職として就職し、早5年目に突入しました。昨年は介護主任の役を頂き、毎日緊張の日々です。幸い実家から車で十数分の職場、気楽な独身生活を送っています。学生時代から大好きな旅行に思うように行けないのがとってもつらい……。でも毎日の仕事後に飲むビールは格別!!です。



県大4期 小坂由香(内藤)

平成15年2月5日結婚致しました。

県大社会福祉学科5期 梶平幸子

平成12年4月福岡徳洲会病院へ就職。現在も福岡徳洲会病院にてMSWとして勤務しています。

県大 人間形成学科5期 佐藤小百合

現在、販売の仕事に就いております。今年3月には2年目を迎えました。子供との関わりをもつために、傍ら家庭教師のアルバイトを兼ねています。県立大学も看護学部開設により、ますますご繁栄のことと思います。事務局の方々もご多忙の中、資料作成等ご苦労様です。

県大 社会福祉学科6期 久井由子

平成13年3月に卒業し、4月より翌年4月まで水巻町中部在宅センターのソーシャルワーカーとして勤務していましたが、一身上の都合のため退職。現在は平成14年10月より(今年9月まで)田川市役所にて臨時職員として働いています。また今年1月の社会福祉士国家試験に3度目の正直で合格しました。臨時職員としての任用期間が終了したら、再び福祉の現場へ戻り、頑張りたいと思っています。



県大 社会学科6期 松野知香

アイコム(株)無線、無線LANメーカー経理事務として勤務。業界No.1です。多忙な毎日ですが、充実しております。

県大 社会福祉学科7期 平田幸子

卒業後、北九州市八幡西区にある特別養護老人ホームに生活相談員として就職し、1年たちました。施設自体、開設1年ということで、最近やっとスムーズに業務を行えているという実感が湧いてきています。今年の目標は「地域との交流」であり、地域住民の皆様ともっとコミュニケーションをとっていきつもりです。私個人としては、施設間の繋がりも作っていきたいと思っています。フットワークの軽い生活相談員を目指しています。

県大 社会福祉科8期 片岡優子

今年3月に大学を卒業し、4月に福岡県立大学大学院に進学しました。大学も実習が国家試験等で、大変でしたが、大学院生もさらにハードな毎日です。しかし、学ぶことができる毎日を幸せに思っています。

県大 社会福祉科10期 江頭関巳

現在の近況として、飯塚市にあります飯塚記念病院で精神科のソーシャルワーカーとして就職し、2年目を迎えました。日々、いろいろと学ぶことが多くて、自分自身勉強をしていく大切さを実感しています。結婚はまだですが・・・そのうち結婚するかも!?!しれません。

○ 来年の会報12号の原稿募集

来年発行12号に近況報告をお寄せ下さい。近況報告返信葉書を奇数期の方に同封いたします。(偶数期には来年送付予定)奇数期と偶数期に分けて募集するのは編集の都合です。葉書の届かなかった方で来年記載を希望される方は官製葉書または封書で事務局までお送りいただきますようお願いいたします。

来年の会報12号近況報告